

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公正会 北谷文夫 佐々木政幸 沢田広志
視察・研修名	富山県南砺市 市民協働部 南砺で暮らしません課 ブランド戦略部 農林課
視察・研修の 目的	なんとの定住支援制度について 高速道路のPA・SAのハイウェイオアシスを見学
日 時	平成29年11月10日（金）13時30分～15時30分
視察研修の 概要	<p><なんとの定住支援制度></p> <p>(1) 三世同居推進における各補助助成制度（平成26年～）</p> <p>(2) 南砺市民間賃貸住宅居住補助金（平成24年～）</p> <p>(3) ふるさと回帰転入助成金（平成26年～）</p> <p>(4) 南砺市定住奨励金（平成20年～）</p> <p>(5) 空き家バンク活用促進事業補助金（平成25年～）</p> <p>新規就農総合支援 等の取り組みについて説明を頂きました。</p> <p>○ 周知の方法は、市民へは市広報・ホームページにより、市外へはホームページ・定住促進ガイドブック・NPOふるさと回帰センター等により行っております。</p> <p>○ 各制度の実績は、当初と比べて利用件数や実績金額も右肩上がり、移住者の推移でも市外や富山県外からの件数・人数も多くなっており成果が見えてきております。</p> <p><移住者の推移></p> <p>平成26年度 市外：95件（不明） 県外：26件（53人）</p> <p>平成27年度 市外：88件（172人） 県外：58件（95人）</p> <p>平成28年度 市外：99件（193人） 県外：42件（83人）</p> <p>○ 空き家バンク活用促進事業補助金での問題点等について</p> <p>空き家の賃貸利用の要望が多いので、掘り起こしとリフォームに要する経費の増額が課題となっている。（補助金の見直しが必要と考えられる）</p> <p>空家等対策計画の策定にあたり調査したことにより、所有者からの連絡が増えた。（制度利用を理解する市民が増えたのではないかと）</p> <p>今後、空き家地域サポーターとの連携によりさらに掘り起こしを進めたいとのことでした。</p> <p>○ 南砺市は面積も広く、小矢部川・庄川周辺の米産地、福野・井波地域は里芋・チューリップ球根の生産、城端・福光地域は全国的に有名な干柿の産地、山間地の平・上平・利賀村地域はミョウガ・赤かぶ・かぼちゃが特産となっています。新規就農は、平成23年に1名、平成25年に1名、平成27年に1名と2年に一人の割合で3名が就農され、就農するための研修支援制度や就農後、経営安定化への農業次世代人材投資資金の制度活用がなされております。</p> <p>◎ 岐阜県各務原市の川島パーキングエリア・富山県南砺市の城端サービスエリア・石川県白山市の徳光パーキングエリアにそれぞれハイウェイオアシスがあり、施設内を見学してみました。</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会 派 名 (参加者)	公正会 北谷文夫 佐々木政幸 沢田広志
視察・研修名	函館市内 特定非営利活動法人 シゴトシンク北海道
視察・研修の 目 的	就労支援事業（ユニバーサル就労）等の取り組みについて
日 時	平成30年2月16日（金） 10時～11時45分
視察研修の 概 要	<p>特定非営利活動法人 シゴトシンク北海道は、2013年に設立され5年程の活動実績の短い団体ですが、誰もが安心して暮らせる社会づくりをめざし、障害者をはじめとする「社会的弱者」と呼ばれる人たちが、安心して労働・自立生活できるように支援している民間団体です。</p> <p>○ 生活困窮者・就労困難者・重病患者・刑余者・ニート・引きこもり・母子及び父子世帯」 等などに共通しているのは「働きたくても働ける環境にない」、このような問題を解決するために「就労環境マッチング」が必要と考え、「働いて欲しい企業ニーズ」×「働きたい人のニーズ」の間を取り持つことを「シゴトシンク北海道」は、「就労移行支援事業所 シゴトマップ」や「就労支援センター シゴトマップ」を通して取り組みしていました。</p> <p>○ 視察先として、実際に仕事をしている作業場を訪問して、直に説明を聞き、現場を見学させて頂き、更に取り組みの重要性を感じさせて頂きました。</p> <p>○ 設立の当初は、資金面や認知度が低く、大変な時であったが、少しずつやり通すことにより、今では年間延べ利用者数も増加し、求められるニーズが増えてきたようで、また仕事の受注額も目に見えて増えてきており、取り組みの効果が出てきております。就労支援が少しずつであるが軌道に乗ってきたようです。</p> <p>※ 今回の視察で社会的弱者と言われる人達への就労支援事業の大切さを感じ取らせて頂きました。そして、今回のもう一つの重要なテーマであります、「ユニバーサル就労」について、しっかりと認識する必要性を再認識できたことは大変な収穫でありました。 次は、「ユニバーサル就労」に積極的に取り組んでいる静岡県富士市について研究を重ねていきたいと思っております。</p> <p>☆ 直、「ユニバーサル就労」の言葉は、社会福祉法人生活クラブが発案して、商標登録されております。</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと